

東京湾海況情報 27-11

東京湾水質調査結果 (平成28年 2月)

(平成28年 2月16日発行)

千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒 293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071
 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 2/3：内湾(ふさなみ)、2/1：内房海域(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報(2/3)、東京湾口海況図(2/3)
 モニタリングポスト(2/3：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁)

【 水温・塩分の状況 】

内湾の表層水温(図1)は9~11℃台で、平年並みからやや高めに なっています。塩分は31~32PSU台で、依然平年よりやや高めでした。
 内房海域の表層水温は12~16℃台、塩分は33~34PSU台で、浦賀水道航路付近まで水温15℃以上、塩分34PSU以上の水塊が流入しています。
 縦断ラインの水温・塩分の鉛直分布(図3)では、塩分34PSU以上の水塊が内湾中央部の底層に及んでいました。

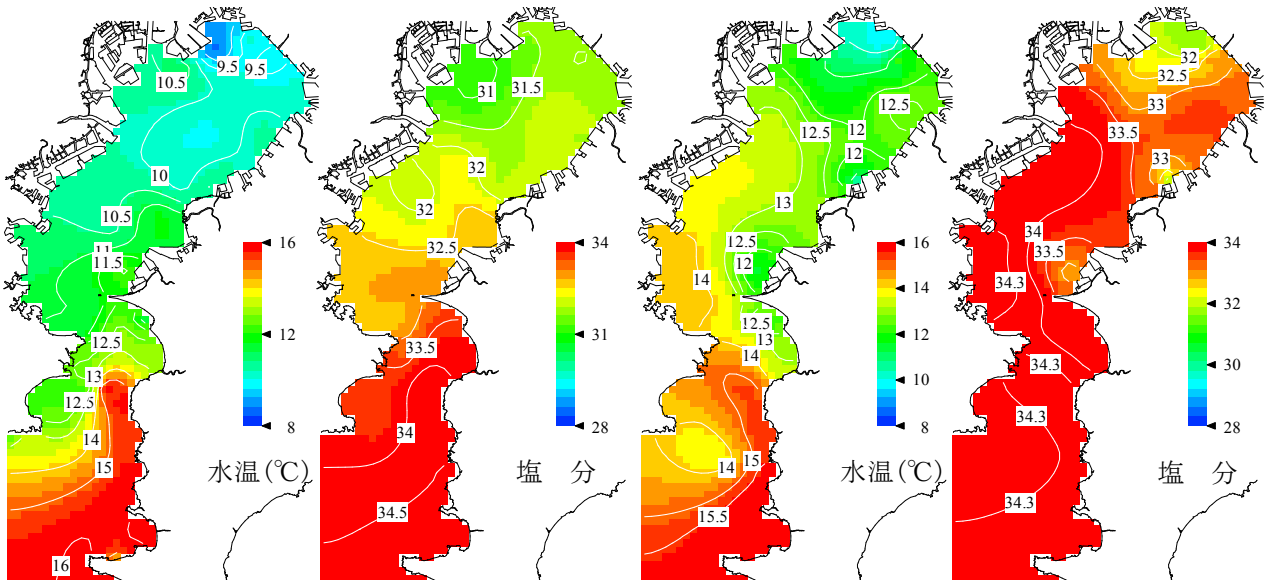


図1 水温・塩分分布(表層)

図2 水温・塩分分布(底層)

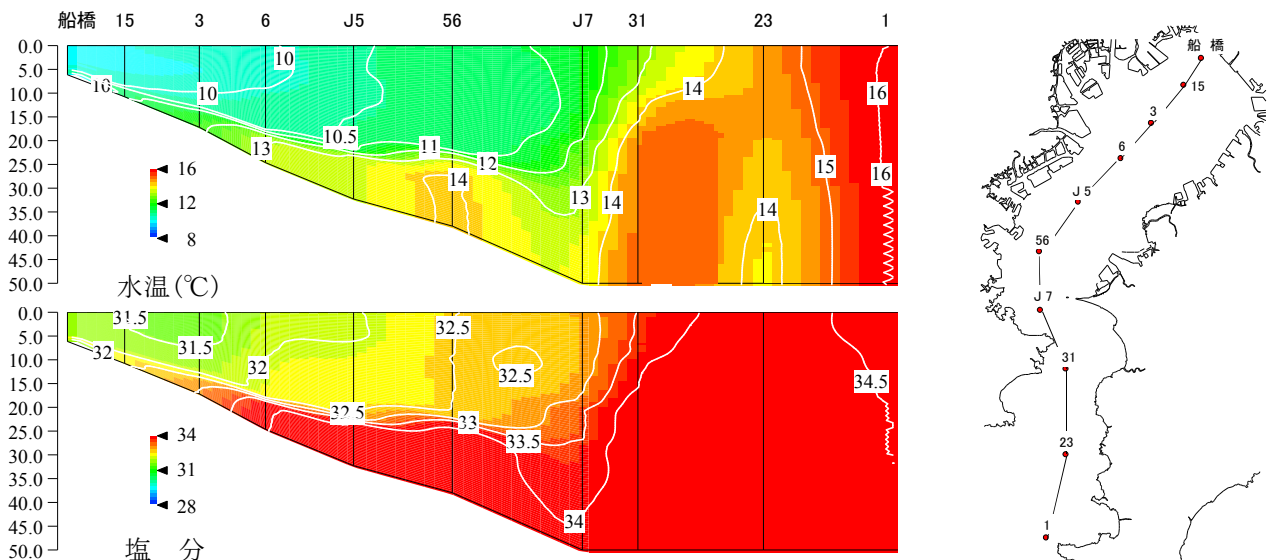


図3 縦断ラインの水温・塩分の鉛直分布(上：水温、下：塩分、右：調査ライン)

【 赤潮の状況 】

赤潮は船橋から千葉にかけての沿岸で発生し、pH 8.4~8.5、透明度2m台で、水色はやや褐色を呈していました。

優占種はケイ藻のスケルトネマ (*Skeletonema* sp.) で、タラシオシラ (*Thalassiosira* sp.) やキートケロス (*Cheatoceiros* sp.) もやや多くみられました。

一方、保田から富浦にかけての周辺海域ではケイ藻類がみられる程度でした。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ~褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 μg/L以上

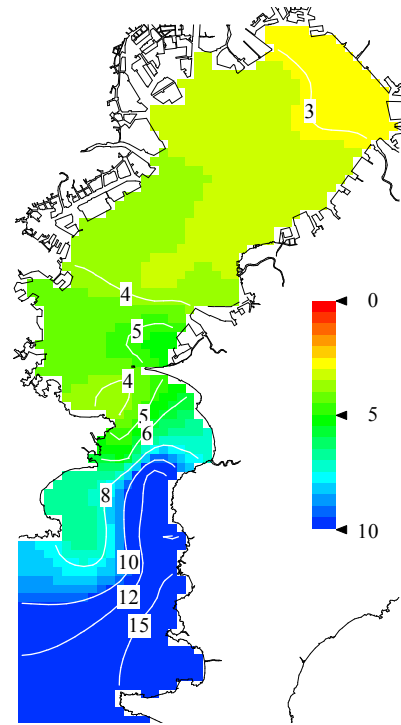


図4 透明度の分布 (m)

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は最も低いところで5ml/L前後あり、貧酸素水塊は発生していませんでした。

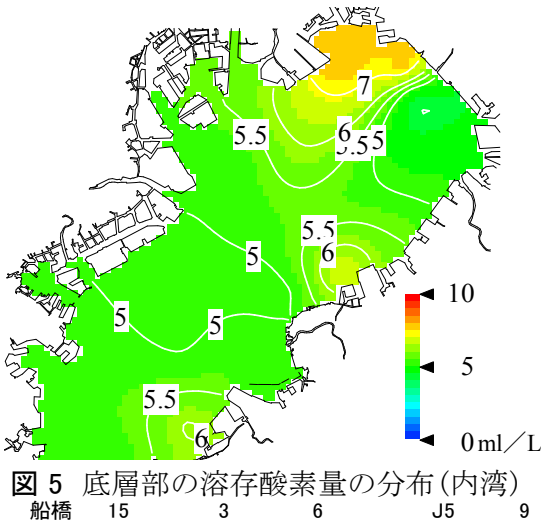


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

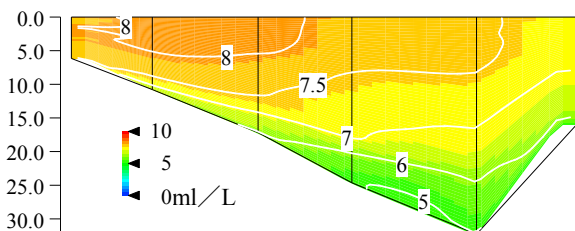


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L (酸素飽和度50%) 以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩(図7)は溶存無機態窒素(DIN)が金谷以南の海域で平年より少なく、リン酸態リン(PO₄-P)はアクアライン以北の東側でかなり少なくなっています。

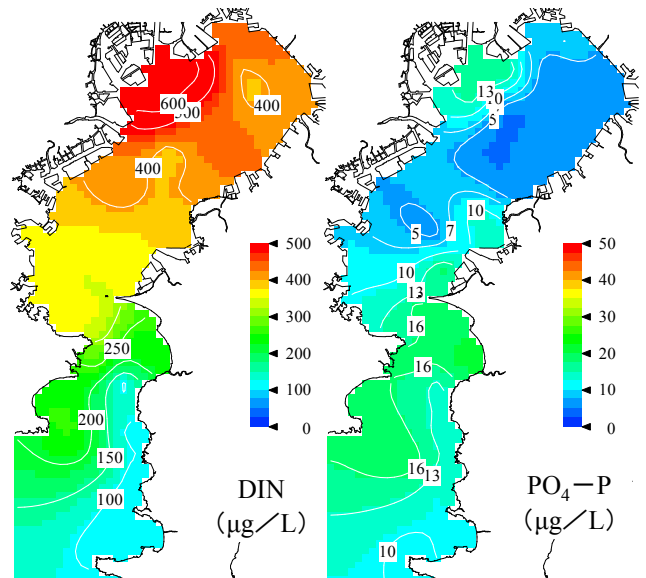


図7 栄養塩濃度の分布 (表層)

【黒潮の状況】

黒潮はB型基調で推移し、その流軸は3日現在八丈島と三宅島の間を通過した後、房総半島南東岸を離岸しながら東北東方向へ流れています(図8)。

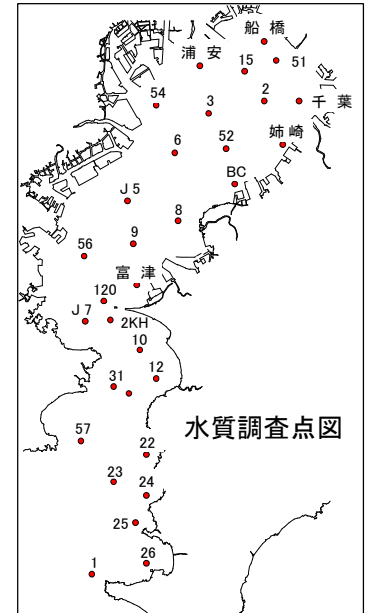
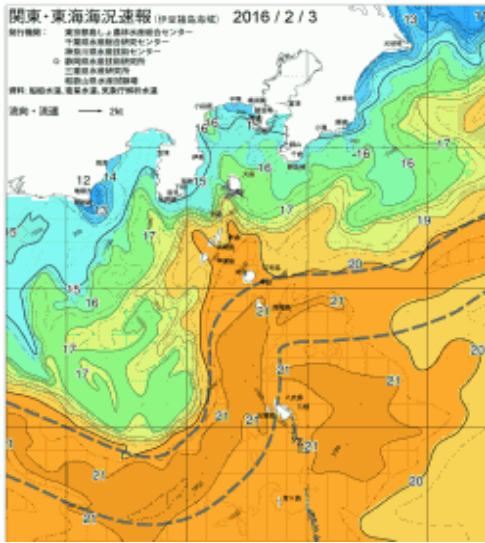


図8 黒潮の動き (平成28年 2月 3日)

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2003~2012年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)	分析中
船橋	9.7 (9.1)	31.61 (31.20)	2.7 (3.2)	8.4 (8.4)	7.4 (6.6)	25 (51)	442 (468)	7 (16)		
st.15	9.7 (9.6)	31.56 (31.42)	3.2 (3.5)	8.5 (8.4)	6.5 (6.1)	6 (40)	405 (432)	3 (12)		
st.3	9.9 (9.5)	31.28 (30.96)	3.3 (4.1)	8.5 (8.3)	5.8 (6.1)	6 (80)	473 (547)	3 (15)		
st.6	9.9 (9.7)	31.86 (31.43)	3.7 (4.6)	8.4 (8.3)	5.1 (5.6)	7 (46)	401 (435)	3 (11)		
st.9	10.6 (10.0)	32.24 (31.80)	3.7 (5.1)	8.4 (8.3)	5.1 (6.0)	7 (47)	363 (381)	5 (12)		
st.BC (盤洲Cブイ)	10.5 (10.9)	31.88 (31.65)	3.2 (4.0)	8.4 (8.3)	6.8 (6.1)	16 (48)	418 (430)	5 (13)		
st.8 (盤洲A南)	11.4 (10.2)	32.65 (31.96)	3.7 (4.0)	8.3 (8.3)	5.1 (5.5)	42 (53)	380 (402)	11 (14)		
富津	12.1 (10.4)	32.86 (31.75)	5.5 (4.7)	8.2 (8.3)	6.0 (5.9)	35 (58)	354 (373)	16 (13)		
st.2KH (第2海ほ下)	11.2 (10.9)	32.75 (32.76)	4.0 (5.7)	8.3 (8.3)		22 (33)	342 (287)	17 (14)		
st.31	12.9 (12.4)	33.58 (33.43)	6.0 (9.6)	8.2 (8.3)		10 (19)	237 (217)	16 (16)		
st.23	14.5 (14.5)	34.25 (34.19)	10.0 (17.0)	8.2 (8.2)		4 (8)	168 (119)	17 (15)		
st.1	16.1 (15.1)	34.67 (34.35)	15.0 (18.3)	8.2 (8.2)		6 (9)	86 (114)	9 (16)		
st.10 (下洲沖)	12.7 (12.2)	33.62 (33.51)	6.0 (7.1)	8.2 (8.2)		8 (22)	239 (224)	18 (16)		
st.12 (湊沖)	13.0 (12.3)	33.83 (33.63)	8.0 (7.0)	8.2 (8.3)		12 (11)	214 (161)	19 (13)		
st.22 (保田沖)	15.6 (14.7)	34.49 (34.27)	15.0 (16.6)	8.2 (8.2)		1 (11)	87 (145)	12 (15)		
st.24 (富山沖)	15.8 (14.9)	34.52 (34.32)	16.0 (18.3)	8.2 (8.2)		ND (12)	82 (140)	11 (15)		
st.26 (館山湾内)	16.0 (15.1)	34.53 (34.35)	17.0 (16.3)	8.2 (8.2)		ND (11)	80 (134)	10 (16)		

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。